

CO₂吸収アミン化合物供給について

広栄化学は、温室効果ガス（GHG）排出量を2013年度比で2030年度までに50%削減、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指しており、様々な取り組みを推進しています。その一環として、近年、国内外で注目を集めているCO₂吸収剤向けの材料開発に注力しています。

当社では、100種類を超える多様なアミン化合物のラインナップを有しており、医薬品、農薬、電子材料関連製品等、様々な用途向けに供給していますが、CO₂吸収剤用途としてアミン化合物への要求も高度化してきています。このような状況の下、当社は、長年培ってきた精密有機合成技術を駆使しながら、独自のアミンも含む化合物の開発及び量産化の検討を精力的に進めています。

今般、当社は、川崎重工業株式会社（以下「川崎重工」）からの要請を受け、川崎重工が独自開発をしたアミン化合物の工業化並びに生産を受託しました。川崎重工は、ワイオミング州にあるIntegrated Test Center（ITC）において、環境省事業の「環境配慮型CCUS一貫実証拠点・サプライチェーン構築事業 委託業務（固体吸収剤による分離回収技術実証）」（画像参照）を一般財団法人カーボンフロンティア機構（JCOAL）と共同で行っており、そのテスト用のアミン化合物を当社で生産・供給しました。今後も同社からの要請に応じ、アミン化合物の供給を続けてまいります。

当社は、今後とも、CO₂吸収に欠かせないアミン化合物の開発、供給を通して、2050年のカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



【川崎重工の固体吸収剤による分離回収技術実証のイメージ】

以上